

南相馬市との「地域産業活性化に関する連携協定」の締結について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、ベンチャー企業に対する連携支援等を目的として、南相馬市（市長 門馬 和夫）と「地域産業活性化に関する連携協定」を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

南相馬市では、福島県浜通り地区の新産業創出等を目的とした「福島イノベーションコースト構想」に基づき、災害現場やインフラ点検等におけるロボット活用の実証・開発拠点として同市内に整備された「福島ロボットテストフィールド」を核として、ロボット産業を中心とした産業集積が進んでいます。

当行は、2016年12月に南相馬市と締結した地方創生に関する包括連携協定に加えて、同市内に進出が進むロボット関連ベンチャー企業への支援強化を目的として、本連携協定を締結するものです。

当行では、今後も地方公共団体との連携を強化し、地域の振興・発展へ貢献してまいります。

記

1. 目的

当行と南相馬市が相互に協力し、ロボット産業を中心とする新たな産業育成に取組み、地域産業の活性化を図ることを目的とします。

2. 連携事項

- (1) 相互の情報共有に関する事項
- (2) 市内ベンチャー企業等との交流の場の促進に関する事項
- (3) 市内ベンチャー企業等との連携の促進に関する事項
- (4) 市内ベンチャー企業等への支援に関する事項
- (5) その他相互に連携協力が必要と認められる事項

3. 協定書の締結日

2020年12月21日（月）

4. 関連するSDGs



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言〜もっと、ずっと、地域と共に。〜」を表明しました。

以上

